えがお通信



R5.6.27 vol.04 城北小保健室

熱中症が気になる季節になりました!

気温が上がってくる とともに、熱中症が気 になってきましたね。 予防方法とともに、も しなってしまったら? の対応も知っておくこ とが大切です。アメリ カでは、アイスバスと いう全身を冷やす装置 があるとのこと。ま た、熱中症の場合は搬 送の前に冷やすことが 大切と言われます。暑 い季節の活動には水分 とともに、体を冷やす ための氷なども必需品 です。

艶中症 重症度と対応

軽症

めまい、立ちくらみ、生あく び、筋肉痛、こむら返り



水分・塩分をとらせ、 様子を見守る 中等症

頭痛、吐き気・嘔吐、体のだるさ、判断力の低下



・ 自力で水が飲めないときは 119番 重症

意識がない、受け答えがおか しい、けいれん発作



・ ただちに119番

重症度にかかわらず、 涼しい場所に寝かせて

体を冷やします。



もし体調不良の子がいたら、 すぐに大人に知らせましょう。

一緒じゃないから一緒に予防を

大人の体をぎゅっと小さくしたのが 子ども…**ではありません**。

子どもの体は大人に比べ…

- ・心拍数は約1.5倍
- ・体内の水分量の割合は1.3倍
- ・地面から受ける照り返しは+3℃

たくさんの水分が 必要な体は、失う 水分も多いのです。



だから、一緒に熱中症予防

こまめな水分補給を忘れないでください。のどの渇きをうまく伝えられない子もいる

ので、朝起きたと きやお風呂の前後 など水分補給のタ イミングを決めて おきましょう。



癒やしの時間とれていますか?

癒やしの時間を取る際に大切なのは、睡眠時間を削らないことです。大 人も子どもも癒やしののための時間を見つけるところから始めましょう。



自分を癒やす時間をつくる

勉強や部活、塾などで忙しくしていると、自分を癒やす時間がなかなかとれないかもしれません。お風呂や寝る前の10分でもいいので、リラックスできる時間を作ってみましょう。自分を大切にすると心にも余裕が生まれますよ。



おうちでできる「癒やし」を考えてみよう!